

令和7年度 第2学年 授業改善推進プラン

	伸ばしたい力(児童の実態、学習状況、指導の実態より)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	・新出漢字の確実な定着。 ・「は、を、へ」の使い方、拗音、カタカナ、漢字、句読点などを正しく使う。 ・自分の考えや気持ちを適切に表現する。 ・原稿用紙(「」や、段落の書きはじめ)を正しく使う。	・読み書きの基本となる文字を正しく覚え、しっかりと定着するように、朝学習や家庭学習で繰り返し練習する。また、定期的に漢字テストを行い、<u>間違えた漢字は直しまでしっかり行う</u>ことで定着を図る。 ・簡単な文章を書くときにも、カタカナや習った漢字を使うように意識させるとともに、国語の教科書の小単位にある、漢字の広場などの学習で<u>絵を文にする学習を繰り返し取り入れる</u>。 ・読む学習では、毎日の音読の家庭学習課題を設定し、授業内では<u>様々な音読方法を取り入れて、読む力を付ける</u>。
算数	・正しく測定したり、直線を書いたりする。(長さの単位) ・かさの単位について知り、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりできる。 ・数を10のまとまりで考えたり、等号を正しく用いたりする。(大きな数の単位) ・繰り上がり・繰り下がりの定着。 ・出てきた数字だけを用いるのではなく、場面を思い浮かべて立式する。(文章題) ・アナログ時計で時刻を読み取る。(時刻と時間) ・乗法九九を確実に唱えることができる。(乗法九九の単位)	・朝学習の時間や繰り返し計算ドリル、教科書付属のデジタルコンテンツを活用し、復習する時間を設け定着を図る。 ・生活場面でも、長さや<u>かさ</u>、大きな数を使う場面を設定し、学習したことを結び付けて意識的に用いる。 ・文章題では、場面を絵や図で表したものを、<u>ICT 機器を活用</u>し学級全体で共有し、イメージをもつ。 ・個別に算数時計などの具体物を使い、<u>繰り返し指導</u>する。 ・<u>九九の暗唱テストを繰り返し行い、習熟する時間</u>をとる。
生活	・自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつ。 ・植物や生き物に注意深く観察したり、違いに気付いたりする。 ・生き物探しや動物飼育体験を通して、命の大切さや成長していることに気付く生き物を大切にすることができる。	・動画や映像教材を活用し、理解を深めることができるように学年で教材研究を深めていく。 ・<u>自分の野菜を育て、実際に経験させる</u>ことで、気付きを深める。 ・友達が書いた観察カードの良いところや、素晴らしい発見を授業で多く紹介し、観察眼を磨く。 ・獣医さんからの話を聞き、飼育方法を考え<u>動物飼育体験</u>を行う。
音楽	・豊かに身体表現する。 ・鍵盤ハーモニカの定着。	・毎時間、既習のリズム打ちを楽しむ時間を作り、リズムを感じられる機会を増やす。 ・様々な音楽教材に触れ、<u>耳や目を通して音楽に親しむ</u>場面を増やしたり、<u>身体表現</u>を通して、音楽で表現する楽しさを味わったりする。
図工	・自分なりに工夫をして表現する。 ・自分と友達の作品の違いに気付き、それぞれのよさや工夫を話し合う。 ・想像したことをのびのびと表現する。	・材料や道具の特性にあった教材を用意し、技法を指導して、表現方法がより広がるようにする。 ・単元ごとに複数の見本を作り、<u>見本を実際に見たり触ったり</u>して、制作の見通しをもたせる。 ・作品を鑑賞する時間を十分に確保し、<u>自分の作品を振り返ったり、友達の作品の良いところを見付けたりする活動を取り入れる</u>。 ・児童が描いた絵や描こうとしている過程に共感し、安心感をもたせる。
体育	・基本的な動きや、自分の考えた通りに体を動かす。 ・勝敗にこだわりすぎず、チームワークを大切にする。	・活動の時間を多く取り入れ、体力アップにつなげる。 ・技術的な知識を教員がもち、活動の中で必要な場面で共有を図る。 ・休み時間や放課後にもやってみたいと思える学習教材を取り入れる。 ・<u>うまくいったことと、困ったことを話し合い、改善案を全員で共有</u>する。
道徳	・学習を実際の生活と結びつけて生かす。 ・自分の考えを伝え合い、深める。	・実態に合わせた資料や題材を取り上げる。 ・ワークシートに書くことで、考えを整理し、発言しやすくする。 ・自分の生活を振り返る時間を10分程度は確保する。

